

しんじゅくの教育

Vol.102

編集 発行 新宿区教育委員会 新宿区歌舞伎町1-4-1
☎3209-1111

<http://www.city.shinjuku.lg.jp/>

CONTENTS

【特集】いじめから子どもを守る……………	2~3
【特集】平成26年度教育予算主要事業……………	4~5
平成25年度新宿区立学校表彰……………	6
情緒障害等通級指導学級を新設します……………	6
地域協働学校 新たな指定学校・準備校がスタートしました！……………	6
【連載】学校わくわく情報局……………	7
環境学習発表会を開催しました！……………	7
平成25年度新宿区教育委員会幼児・児童・生徒表彰……………	8
就学援助の申請について……………	8
東戸山幼稚園の閉園と茶々ひがしとやま子ども園のオープンについて……………	8
予防接種のお知らせ……………	8

70 古紙配合率70%の再生紙を使用しています

新宿区いじめ防止等 のための基本方針 を策定しました

平成26年3月、教育委員会では「新宿区いじめ防止等のための基本方針」を策定しました。

この基本方針は、いじめはどの学校、どの子どもにも起こりうるとの認識に立ち、いじめの早期発見に努めるとともに、家庭・学校・地域や関係機関等と連携し、これを解決すること等を基本理念としています。

また、いじめにとどまらず、各学校における様々な問題について、効果的に対応する組織を新たに設置しました。

「新宿区いじめ防止等のための基本方針」における基本理念や、取組みの方針等については、2・3面の特集記事「いじめから子どもを守る」をご覧ください。

問合せ 教育調整課 (5273) 3074

教育委員会の動き

問合せ 教育調整課管理係 (5273) 3070

■教育委員会について

教育委員会は、区議会の同意を得て区長が任命した6名の委員で構成する合議制の執行機関です。
会議は、毎月1回第1金曜日(都合により変更あり)に定例会を、また、必要に応じて臨時会を開催しています。

■教育委員会はどなたでも傍聴できます

会議の日時、場所、傍聴の方法については、区のホームページに掲載しています。

【教育委員会開催状況】

- 平成26年3月5日～平成26年4月4日
- 定例会2回、臨時会1回開催

【主な議案】

- 新宿区いじめ防止等のための基本方針について
- 教育委員会が行う個人情報保護事務に関する規則の一部を改正する規則
- 平成26年度新宿区一般会計補正予算(第1号)(案)に関する意見聴取について
- 新宿区指定文化財の指定及び新宿区登録文化財の登録について

【主な報告事項】

- 平成25年度新宿区立学校表彰の選定結果について
- 平成26年度学校給食費について
- 新宿区地域文化財の認定について



いじめから子どもを守る

—新宿区教育委員会におけるいじめ防止等のための取組み—

いじめは、いじめを受けた子どもの教育を受ける権利を著しく侵害し、その心身の健全な成長及び人格の形成に重大な影響を与えるばかりでなく、その生命又は身体に重大な危険を生じさせるおそれがあるものです。

新宿区教育委員会は、「新宿区いじめ防止等のための基本方針」を策定し、家庭・学校・地域や関係機関等と連携して、各学校のいじめ防止等の取組みを支援していきます。

基本理念

- いじめは重大な人権侵害であるとの認識に立ち、いじめの防止に取り組みます。
- いじめはどの学校、どの子どもにも起こりうるとの認識に立ち、いじめの早期発見に努めます。
- 子どもの生命及び心身を保護することが特に重要であるとの認識に立ち、いじめを受けた子どもに寄り添うとともに、家庭・学校・地域や関係機関等と連携し、これを解決します。

「新宿区いじめ防止等のための基本方針」について

教育委員会では基本理念に基づいた方針を定め、いじめ防止等のための取組みが充実するよう、学校を支援していきます。

「学校問題支援室」の設置

いじめや不登校、その他問題行動に対する学校の対応を総合的に支援するため、教育委員会内に専門家チーム「新宿区学校問題支援室」を設置し、学校への継続的な助言、関係機関との調整、個別の事案へのフォローアップ等を行っていきます。

☎P2【相談窓口】参照

相談機関の設置及び周知

児童・生徒及び保護者がいじめ等について相談できる環境の整備に努めるとともに、これを周知していきます。

教員研修会の充実

いじめの防止等のための対策が専門的知識に基づき適切に行われるよう、教職員の研修の充実を図ります。

情報モラル教育の推進

インターネット（SNS等）によるいじめ防止のため、情報モラル教育を教育課程に位置付け、児童・生徒がインターネットの特性を理解するとともに、他者の人権を尊重して活用する態度を身に付けるなどの授業を、民間技術者を活用して展開できるよう支援します。

「学校問題等調査委員会」の設置

教育委員会事務局職員と専門家（法律・医療・教育）で構成する「新宿区学校問題等調査委員会」を教育委員会に設置し、いじめによる重大事態が発生した際の実態関係の調査や児童・生徒への対応について、適切かつ迅速な対応が行えるよう備えます。

※ 基本方針全文は教育委員会ホームページに掲載しています。

いじめ防止対策Q & A

新宿区教育委員会が進めるいじめ防止対策について、Q & Aでお答えします。

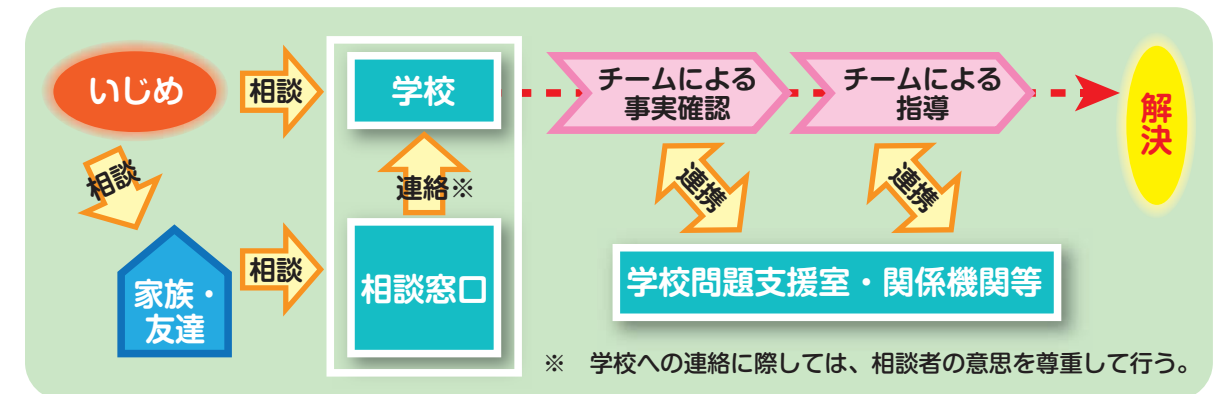
Q いじめを発見することはできるの？

A いじめは、ほとんどの子どもが加害者や被害者になるにもかかわらず、ネットいじめなど、大人からは見えにくくなっています。新宿区立学校では、日常の観察や相談に加え、6月、11月、2月を「ふれあい月間」と位置付け、子どもや保護者にアンケートを実施するなどしています。

「ふれあい月間」では、いじめの発見だけでなく、学校の取組みを点検するとともに、児童会・生徒会の主体的な取組みを進めるなど、いじめの未然防止につながる取組みも重視しています。

Q どのように解決してくれるの？

A いじめやいじめの疑いを見つけた場合には、いじめを受けた子どもの気持ちに寄り添いながら、学校は関係諸機関と連携してチームで解決を図ります。



Q どこに相談すればいいの？

A いじめを受けたり、いじめを見かけたりした時には、ひとりで抱え込まず、まずは学校をはじめ、信頼できる人に相談することが大切です。

学校では、担任の先生以外にもスクールカウンセラーや校長・副校長が相談をお受けします。また、学校に相談しにくいときには、以下の相談機関を利用してください。

【相談窓口】

- ・ 相談専用電話「新宿子どもほっとライン」 ☎5331-0099
【平日】午後5時～午後10時 【土・日・祝日】正午～午後10時
- ・ 教育相談室 電話相談 ☎3232-2711
【平日】午前9時～午後5時
- ・ 教育相談室 面接相談 ☎3232-3071
【平日】午前9時～午後6時（受付は午後5時30分まで）
- ・ 学校のいじめ対応についての相談窓口
「学校問題支援室」 ☎5273-4125
【平日】午前9時～午後5時

平成26年度 教育予算主要事業

子どもたちが生涯を
切り拓いていく力をはぐくむために



教育委員会では「新宿区教育ビジョン」に掲げる新宿区の目指す教育を実現し、未来を担う子どもたちが夢と希望を持って成長していけるよう教育行政を推進しています。平成26年度に計上した教育予算は、104億6205万5千円で、区一般会計に占める割合は、7.5%となっています。ここでは、平成26年度の主な事業をご紹介します。

問合せ 教育調整課管理係
(5273)3070

いじめ防止対策の推進

※P1～3

4,511 千円

○学校問題支援室の設置

いじめや不登校、その他問題行動に対する学校の対応を総合的に支援するために、スクールソーシャルワーカーや学校問題サポート専門員等で構成される専門家チーム「新宿区学校問題支援室」を設置し、学校への継続的な助言や関係機関との連絡調整、個別の事案へのフォローアップ等を行っていきます。

○インターネットによるいじめへの対応

インターネット(SNS等)によるいじめ防止のため、情報モラル教育を教育課程に位置付け、児童・生徒がインターネットの特性を理解するとともに、他者の人権を尊重して活用する態度を身に付けるなどの授業を、民間技術者を活用して展開できるよう支援していきます。

○学校問題等調査委員会の設置

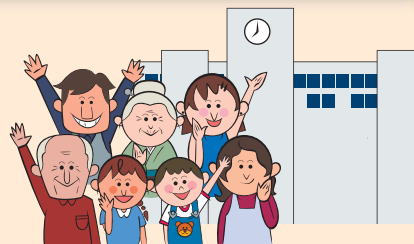
教育委員会事務局職員と専門家(法律・医療・教育)で構成する「新宿区学校問題等調査委員会」を設置し、いじめによる重大事態が発生した際に、適切かつ迅速な対応が行えるよう備えます。

地域協働学校（コミュニティ・スクール）の推進

※P6

10,653 千円

地域に信頼され、地域に支えられる開かれた学校づくりを進めていきます。26年度は、新たに3校を地域協働学校に、11校を準備校に指定します。



情緒障害等通級指導学級の設置

※P6

12,667 千円

情緒障害等通級指導学級を利用する児童の増加に対応するため、27年度、鶴巻小学校と四谷第六小学校に通級指導学級を新設します。新設する学級には、隣接校への巡回指導の拠点機能を持たせ、28年度から実施が予定されている東京都の「特別支援教室構想」を踏まえたモデル実施を行います。

26年度は、必要な環境整備を行います。

巡回指導・相談体制の構築

93,525 千円

専門家で構成される支援チームが各学校(園)を巡回し、発達障害のある児童・生徒等への適切な指導方法等について助言するとともに、特別支援教育推進員を増員することにより、学校内指導体制の充実を図ります。

- 特別支援教育推進員(非常勤講師)24人→26人
- 就学支援シートの作成と活用 等



愛日小学校の建設

674,185 千円

愛日小学校の既存擁壁を撤去、新設するとともに、新校舎を建設し、より良い教育環境を整備します。28年度の新校舎竣工に向け、26年度は解体工事、仮校舎設備賃借及び新校舎の建設等を行います。

エコスクールの整備推進

96,250 千円

環境負荷の低減や自然との共生を意識した学校施設の整備を行います。

- みどりのカーテンの充実(30校以上)
- 校庭芝生化(天神小学校)
- 太陽光発電設備設置(落合第二中学校) 等



▲芝生の校庭(四谷第六小学校)

学校施設の安全対策

106,822 千円

子どもたちが安心して学校生活を送ることができるよう、施設の安全対策を行います。

- 屋内運動場非構造部材耐震化工事(全校)
- 屋内運動場吊天井の撤去(富久小学校)



地域図書館の整備（落合地域）

135,115 千円

新宿区緊急震災対策に基づき、旧戸山中学校を仮施設として移転した中央図書館の跡地に、地域図書館を整備します。28年度の開設に向け、26年度は解体工事及び設計等委託を行います。

平成25年度 新宿区立学校表彰

教育委員会では、今年度から新宿区立学校表彰制度を創設しました。この制度は、教育委員会が掲げる教育目標の実現や、教育活動における課題を解決するために、学校や幼稚園が継続的に取り組んでいる教育活動の成果を表彰するものです。

問合せ 教育調整課管理係
(5273)3070



▲平成26年3月3日(月)、酒井教育長より学校長に表彰状が贈られました。



▲絵本「笑顔くれたおおくぼつつじ」。地区協議会の協力を得て作成しました。



▲大久保小学校内にある「大久保つつじミュージアム」。これまでの活動の記録が展示されています。

○表彰校

大久保小学校

○表彰された活動

大久保つつじを題材とした
地域に根差した教育活動の推進

○主な活動内容

- 江戸時代から大久保地域で栽培されていた「大久保つつじ」について調べ学習をするとともに、群馬県立つじが岡公園より大久保つつじを譲り受け、学校に植樹を行った。
- 挿し木により大久保つつじを増やす活動を実施している。
- 大久保地区協議会の協力を得て、絵本「笑顔くれたおおくぼつつじ」を制作し、区内の幼稚園・保育園・子ども園等に配布・読み聞かせを行うなど、地域との交流を中心に様々な活動を行っている。

○教育委員会が評価した点

- 6年生になるまでに、課題の設定やその解決の手法等を身に付けられる力リキラムが生まれ、その経験を踏まえて子どもたちが自ら考え、地域と連携した様々な活動を行っている。
- 地域の文化を知り、そのことを発信するという活動を通して、地域や学校に対する児童の意識を高めている。
- 児童の調べ学習を契機に、学校の総合的な学習の時間の単元や地域と連携した教育活動へと発展させている。

新宿区の 特別支援教育

平成27年度
情緒障害等通級指導学級を
新設します

教育委員会は、平成27年度、鶴巻小学校と四谷第六小学校に情緒障害等通級指導学級を新設します。また、その2校を拠点校として、平成28年度から実施が予定されている東京都の「特別支援教室構想」(後記)を踏まえたモデル実施を行います。

対象となる児童

通常の学級で学ぶ、知的な遅れのない自閉症、ADHD(注意欠陥多動性障害)、LD(学習障害)等の発達障害のある児童が対象です。

※情緒障害等通級指導学級とは

通常の学級で学びながら、決められた曜日に週1回程度通級し、個別指導や小集団指導を受ける学級です。現在は小学校3校、中学校2校に設置しています。

特別支援教室構想

各小学校に特別支援教室を設置し、対象児童への個別指導を行います。3校〜4校を1つのブロックとし、その中に1校の拠点校を設け、拠点校に配置された教員が、ブロック内の各小学校を巡回して対象児童を指導する新たな特別支援教育の推進体制です。

平成27年度モデル実施校

- 四谷地域：四谷第六小学校(拠点校)、四谷小学校、花園小学校
- 牛込地域：鶴巻小学校(拠点校)、江戸川小学校、早稲田小学校

※平成26年度は、モデル実施校の環境整備を行っています。

地域協働学校
新たな指定学校・
準備校がスタート
しました!



教育委員会は、地域住民や保護者等が学校の運営に参画することにより、地域に信頼され、地域に支えられる開かれた学校づくりのしくみとして「地域協働学校」の導入を推進しています。

地域協働学校では、地域や保護者の声を反映させて学校評価を改善したり、学校にかかわる機会の少なかった地域の方も参加しやすい支援活動を工夫したりと、学校・家庭・地域のつながりを強めて地域社会全体で子どもたちをばくむ取組みを進めています。

平成26年4月1日、新たに3校を地域協働学校に、11校を準備校に指定しました。(準備校は1年間、指定学校となる準備をした後、翌年度から地域協働学校に指定されます)。

○指定学校

- 【小学校】江戸川小・牛込仲之小・四谷小・四谷第六小・花園小・淀橋第四小
- 【中学校】四谷中

○準備校

- 【小学校】市谷小・愛日小・早稲田小・余丁町小・戸山小・戸塚第一小・落合第三小・柏木小
- 【中学校】牛込第一中・牛込第三中・落合中

※赤字は新たに指定学校・準備校となった学校。

地域の方、保護者の皆様、指定学校・準備校へのご理解とご協力をお願いします。

問合せ 教育支援課特別支援教育係
(3)232(2)3074

問合せ 教育支援課地域家庭教育係
(3)232(2)1078

学校わくわく情報局

柏木小学校

「海」という豊かな自然に囲まれて

柏木小学校では、平成25年10月から、5年生が社会科の授業の発展として日本の海や島々について学習してきました。これは、子どもたちが海や魚の大切さなどについて学ぶことを支援するNPO法人「海のくに・日本」の企画により行われたものです。

平成25年10月には、長崎県壱岐市の白川博一市長より特別授業があり、壱岐島の面積は新宿区の7倍もあることや、漁業では多くの種類の魚が採れることなど、離島の暮らしや産業について学びました。また11月には、中央学院大学の谷川尚哉准教授による地理の授業があり、日本には6千を超える島々から成り立っていることや、海では魚だけでなく貴重な資源も採れることなどを学びました。平成26年1月には5年生の代表児童5名が壱岐島を訪問。実際に離島の暮らしや産業、食文化に触れました。

3月2日(日)には、柏木小と同様の学習を行っていた他区の学校の児童とともに、これまでの学習を振り返る発表会に参加。特別授業や現地訪問で学んだことを発表し、壱岐島の海は青く光っていて下まで透けて見えてとても綺麗だった。東京の海も綺麗な海にしたい」と話していました。「海」という豊かな自然に囲まれている日本。子どもたちは今回の学習を通して多くのことを学び、充実した時間となりました。



▲壱岐市について事前学習。



▲大きな会場での発表。緊張しました。

新宿養護学校

ひまわりの花のように 明るく子どもたち

新宿養護学校は、肢体不自由の児童・生徒が在籍する都内で唯一の区立の特別支援学校です。一人ひとりの障害の程度に応じたきめ細やかな指導を特色としています。また、体力的な理由や長期にわたる入院により学校に通うことができない子どもたちのために、教員が自宅や病院に向いて指導を行う訪問学級も設置されています。

昭和53年に誕生した新宿養護学校は、平成25年度に創立35周年を迎えました。2月14日(金)には周年記念公開授業が行われ、子どもたちの授業風景が公開されました。

小学部の「朝の会」では、児童6名が「日付」「天気」「出欠」「給食」など、8つの確認項目を声に出して確認。教員が、臨機応変に手話やタブレット型端末を使うことで、児童一人ひとりとコミュニケーションを深めていました。中学部の授業では、6名の生徒が新聞づくりに挑戦。テレビ局へ校外学習に行ったときの様子を、動画やレコーダーを用いて振り返り、皆で協力しながら新聞を作りあげていました。

新宿養護学校はこれからも、子どもたちが、学校のシンボルである「ひまわり」の花のように、明るくのびのびと健やかに育っていくよう学校運営を進めていきます。



▲タブレット型端末で給食の献立を確認。



▲自分の考えをパソコンで入力。

環境学習発表会を開催しました！

教育委員会は、平成26年2月1日(土)環境学習発表会を開催しました。環境学習発表会は、各学校における環境学習の一層の充実を図り、環境問題への関心を高めることを目的として毎年開催しています。

25年度は四谷小、四谷第六小、花園小、淀橋第四小、柏木小の児童による舞台発表と、津久戸小、花園小、落合第四小、西新宿小、西戸山小、西新宿子ども園による展示発表があり、子どもたちが、環境問題について学習してきたことや、日ごろの取り組みについて発表しました。

問合せ 教育支援課教育活動支援係 (3232) 1053

淀橋第四小学校の発表

『今、私たちにできること』と題し、ごみ問題についての取組みを発表。「道路にポイ捨てされたガムは、この道具を使って取ります!」。



花園小学校の展示

チラシをお皿として再利用する方法を発表。「節水になるだけでなく、チラシが食べ物の水分や油を吸収するので、焼却する時のエネルギーが少なくて済みます」。

平成25年度新宿区教育委員会 幼児・児童・生徒表彰

学校教育の一層の充実と青少年の健全育成を目的に、教育委員会は幼児・児童・生徒表彰を行っています。平成25年度の表彰者は次の方々です。
3月18日（火）、4団体、3名の児童・生徒に教育長から賞状と盾が贈られました。

問合せ 教育支援課教育活動支援係
(3232)1054



○団体・小学校	
早稲田小学校金管バンド	第32回全日本小学校バンドフェスティバル東京都大会「金賞」
○団体・中学校	
牛込第三中学校吹奏楽部	第53回東京都中学校吹奏楽コンクール東日本部門「銀賞」 他の模範となる地域における文化的活動
四谷中学校家庭部	第11回中学生創造ものづくり教育フェア in TOKYO 「あなたのためのおべんとう」コンクール 第2位・第3位
新宿西戸山中学校駅伝競走男子チーム	第66回東京都中学校駅伝競走大会 第1位
○個人・小学生	
愛日小学校 ならさき けんいち 榑崎 健一 (2年)	第17回図書館を使った調べる学習コンクール 観光庁長官賞
○個人・中学生	
落合第二中学校 しげまつ まさあき 重松 雅明 (3年)	第47回中学生の「税についての作文」 公益財団法人全国法人会総連合会長賞
新宿西戸山中学校 しだ ゆうゆ 志田 侑優 (3年)	平成25年度全国中学生人権作文コンテスト＜東京都大会＞ 最優秀賞

就学援助の申請について

ご家庭の事情に応じて教育費の一部を補助しています。

【対象】区内在住で次に該当し、経済的に困りの方

※所得制限があります。

○義務教育期間中のお子さんがいる保護者

○中学校の夜間学級に在学する生徒の保護者または20歳以上の生徒本人

【申込み】

○区立小・中学校に通学の方は、在籍する学校に申請してください。

○新宿区以外の公立及び国立・私立の小・中学校に通学の方はご相談ください。

【その他】

○平成26年度から所得の証明方法が変わりました。詳細については、区公式ホームページに掲載しています。

○就学援助が否認認定になった場合でも、特別支援学級に通う児童・生徒（もしくは、学校教育法に規定する障害の程度に該当する児童・生徒）の保護者の方には、特別支援教育就学奨励制度により、一部補助を行っています。詳しくはお問合せください。

問合せ 学校運営課学校運営支援係
(5273)3089

東戸山幼稚園の閉園と茶々ひがしとやま子ども園のオープンについて

東戸山幼稚園は、平成25年度をもって49年間の歴史に幕を閉じました。25年度の3歳児クラス、4歳児クラスの園児たちは、4月から私立認定こども園「茶々ひがしとやま子ども園」に通っています。

※「茶々ひがしとやま子ども園」は、旧東戸山幼稚園舎を利用し、平成26年4月1日に開園しました。

問合せ

- 幼稚園について
学校運営課保健給食・幼稚園係 ☎ (5273)3103
- 子ども園について
保育園子ども園課運営係 ☎ (5273)4525
- 茶々ひがしとやま子ども園について
社会福祉法人あすみ福祉会 茶々ひがしとやま子ども園 ☎ (5155)4321

予防接種のお知らせ

問合せ 保健予防課予防係 (5273)3859

MR(麻しん風しん混合)

1歳児・年長児のみなさんはMR(麻しん風しん混合)の予防接種を無料で受けられます。麻しん(はしか)は非常に強い感染力があり、発病すると高熱が続き、時には重い後遺症が残る重大な感染症です。

日本脳炎

平成7年4月2日～19年4月1日生まれの方は、日本脳炎の特例対象者です。日本脳炎第1期(初回2回・追加1回)・第2期(1回)の接種が完了していない方は、20歳になるまでの間不足回数を、区の指定医療機関にて無料で接種することができます。

いずれも無料で接種するには区発行の予診票が必要です。
お手元がない場合は、お問い合わせください。